

とうこう  
投稿

1995年2月13日我回到了祖国日本，弹指一挥间，转眼已经过去了23个年头。如果有人问我，23年了，你过得怎么样？我想说：如鱼得水，过得很自在。

以前受到了许多打击，脑子受伤，记忆力很差，给日语学习造成了很大障碍。但是我想，既然是日本人就要讲日语，再大的困难我也要努力。

工作时，我听到了一段这样的对话。同事 A 对 B 简述了一件事情。讲完后，A 说：“我讲明白了吗？” B 说：“有一点我没有听清楚，请你再讲一遍好吗？”如果换成中文表述，那可能就是：



A 说：“你听清楚了吗？”

B 说：“你没有讲明白。再说一遍吧。”

两种表达的方式微妙的差异，给人的感受完全不一样。

一个民族的思维方式是这个民族语言的灵魂。日本人在和人交往的时候，总是抱着谦虚的态度，总是对人保持着一种由衷的敬意。

人和人要想和睦相处，前提是双方必须要有一个共同的价值观。

刚回国的时候，有一次我去倒垃圾，看见邻居 C 正在给一个垃圾袋上系一条红丝带，并在透明的垃圾袋上贴了一张醒目的纸条，上面写着：“注意！”我问为什么要这么做？ C 说：“我不小心打碎了

1995年2月13日、私は祖国日本に帰ってきた。そしてあっという間に23年の月日が流れた。もし誰かに、「どんな23年間でしたか？」と聞かれたら、「水をえ さかな のように、のびのび暮らしました」と答えるおち と思う。

以前、私はずいぶんひどい目に遭い、脳にいぜん め あ のう そんしょう 損傷を受けた。記憶力が悪いため、日本語を学ぶには大きなしょうがい にほんご まな おお 障害だった。けれど私は、日本人であるからには日本語を話したいと思い、どんなに大きなこんなん た お 困難であろうと立ち向かうことにした。

職場で、私はこんな会話を耳にした。同僚の A さんが、B さんに何かを説明したあと、「私の説明がわかりましたか？」と尋ね、B さんは「少し聞き取れなかったところがあります。もう一度言っただけませんか？」と答えていた。この会話を中国語の表現に置き換えると、たぶん次のようになる。

A「あなたは聞き取れましたか？」

B「あなたの話は分かりにくかった。もう一度言って」この二通りの表現は、違いは微妙だが、相手に与える印象は全く違う。

ある民族の思考方法は、その民族の言語の真髄をなしている（と思う）。（上の会話のように、）日本人は他人と付き合うとき、いつも謙虚な態度で、相手に敬意を払い続けている。

人が他人と打ち解けて交際したいなら、双方が同じ価値観（／物差し）を持つ必要があるだろう。

帰国したばかりの頃のこと。私がゴミを出しに行くと、近所の C さんが、ちょうどゴミ袋に赤いリボンを結び付け、さらに透明なゴミ袋の上に、とても目立つ「注意！」と書いた紙を貼っていた。私が「どうし

一个玻璃瓶，碎玻璃很锋利，可能会割破收垃圾的人员的手。”

这件小事深深地震撼了我。不要给他人添麻烦是日本人在生活中自觉遵守的一条规则。人的本性是自私的。没有私心的人不是人，神仙。一个人在生活中心里总是自觉地想着别人，适当地抑制自己的私心，那他就是一个文明的人；反之就是愚昧的人。

从那以后，我时时刻刻提醒自己：你是一个日本人。你要努力地学会用日本人的价值观点去观察、思考、处理生活中的事情。你要像周围的日本人一样努力拼搏，自强不息。

日本政府非常关心归国者的生活，为了让归国者老有所养，制订了许多优惠的政策。许多归国者都享受着生活支援金，过着衣食无忧的晚年生活。

在享受着生活支援金与自立的两者间，我之所以选择了自立，源于很多年以前，NHK 播送过一个节目。

那个节目说的是在日本的北方，有一位 80 多岁的老奶奶，邮递员将邮件送到她家，再由她负责把邮件送到周围的家每户。冰天雪地，老奶奶背着沉甸甸的邮件，踏着没膝深的大雪，走在乡间的小路上。遇到下坡，她把邮件抱在怀里，坐上一个大大的塑料簸箕，滑着雪顺坡而下，像个孩子，脸上堆满了欢乐的笑容。多少年过去了，只要一闭上双眼，脑海中就会浮现出老奶奶的那张幸福的笑容。



てそんなことをするのですか？」と聞くと、C さんは「ガラス瓶を割っちゃって。尖ったガラスの破片で作業員が手を怪我するといけないから」と言った。

この小さな出来事は私の心を強く揺さぶった。他人に迷惑をかけてはいけない、これは日本人が暮らしの中で心して守っている規則の一つだ。人というのはわがままなものだ。自己中心的でない人なんて、人じゃなくそりゃ神様だ。しかし、もし人が常に他人を思いやり、自分勝手な気持ちを適度に抑えることができたなら、そういう人こそ教養のある人で、それができない人は愚か者だと思った。

それ以降、私は常に自分に言い聞かせた。「日本人なんだから、努力して日本人の価値観で生活の中の出来事を観察し、思考し、対応し、周りの日本人と同様、たゆまず励まなければならない」と。

日本政府は帰国者の生活によく配慮し、年を取っても困らないよう、いろいろな優遇政策をとってくれた。多くの帰国者が支援金を受け、おかげで衣食に心配のない晩年を送っている。

この生活支援金を受けるか、それとも働き続けて自活するか、二つの道が示されたとき、私は自活を選んだ。それは数年前、NHKの或る番組を観たからだった。

その番組は、北日本に住む 80 歳を超えたお婆さんの話で、郵便配達員がまとめて届ける郵便物を、さらに周辺の各家に配るのがお婆さんの仕事だった。北国の冬、お婆さんは重い郵便物を背負い、膝まで積もった雪を踏みしめながら、村の小道を歩いて配る。下り坂になると、郵便物を胸に抱え、大きなプラスチックのそりに乗って、雪の上を滑り下りる。その顔は子どものように無邪気に笑っていた。あれから何年も経ったというのに、目を閉じるとお婆さんの幸せそう



老奶奶事迹深深地打动了我，是她激励着我努力拼搏，自强不息，至今还在工作着。我今年 72 岁，比起她我还年轻。我想只要还能动，我就要一直在自立的道路上走下去。

许许多多的日本人在战争中牺牲了宝贵的生命。比起他们，我能够活着回到祖国日本，我是幸运的。什么是幸福？幸福是一种感觉，一个人拥有什么关系不是很大。

我感恩命运，她让我活着回到了祖国日本；我感恩生活，她教给了我许多人生的真谛；我感恩中国的养父母，是他们将我含辛茹苦，养育成人；我感恩周围那些普普通通的日本人，是他们在困难的时候教给了我什么是坚强，什么事自强不息。每天我就是这样满怀着感恩的心情，微笑着面对着生活的挑战。(1, 2015 年)

な笑顔が<sup>えが</sup>頭に<sup>あたま</sup>浮か<sup>う</sup>んでくる。

私はそのお婆さんの働きぶりに深く感動した。彼女に頑張れ！努力、奮闘せよ！と励まされ、今もまだ仕事を続けている。私は今年 72 歳になるが、お婆さんにくらべればまだ若い。体が動けるうちは、ずっと自活の道を歩み続けようと思っている。

数多くの日本人が戦争の犠牲になって命を落とした。彼らに比べれば、生きて日本に戻れた私は幸運だ。いったい幸福とは何だろう？ 幸福とは各人の思い次第で、その人が何を所有しているかは、あまり関係がないと思う。

私は生きて祖国に帰れたこの運命に感謝し、私にたくさん<sup>しんり</sup>の真理<sup>あし</sup>を教<sup>おし</sup>えてくれた人生<sup>じんせい</sup>に感謝し、私を苦勞<sup>くろう</sup>して育ててくれた中国の養父母にも心から感謝している。また私の周りのごく普通の日本人にも感謝している。彼らは私が辛いとき、粘り強く努力し続ける大切さを教<sup>まにち</sup>えてくれた。毎日私はこのように胸一杯の感謝の気持ちで、微笑みながら、日々の出来事に立ち向かっている。(訳:○)